



純度(じゅんど)の高(たか)い斜長岩(しゃちょうがん)の分布(ぶんぷ)

岩石種(がんせきしゅ)で色分け(いろわけ)したカラー画像(がぞう)(赤(あか):輝石(きせき)、緑(みどり):かんらん石(せき)、青(あお):斜長石(しゃちょうせき))

つき しろ み ぶぶん こうち しゃちょうがん で き しゃちょうがん  
月の白く見える部分は高地で斜長岩から出来ています。斜長岩は

まぐま なか かるい しゃちょうせき う あつ かんが  
マグマの中で軽い斜長石が浮いて集まってできたと考えられています

しゃちょうがん つきぜんたい ひろ ぶんぷ じじつ つき むかし まぐま  
す。斜長岩が月全体を広く分布している事実から、月は昔、マグマ

おお かんが まぐまおーしゃん よ  
で覆われていたと考えられています。これをマグマオーシャンと呼んで

つき しゃちょうがん あぼろ も かえ さんぷる しゃちょうせき  
います。月の斜長岩はアポロが持ち帰ったサンプルにより、斜長石

ほか きせき かんらんせき ふく かんが  
の他に、輝石やカンラン石などが含まれていると考えられてきました。

つきしゅうかいていせい どうさい まるちぼんどいめーじゃー  
月周回衛星「かぐや」に搭載されたマルチバンドイメージャーは、

つきぜんたい わた きせき かんらんせき ふく じゅんすい  
月全体に渡って、輝石やカンラン石をほとんど含まない純粋な

しゃちょうせき ぶんぷ はっけん  
斜長石が分布していることを発見しました。